



タミルの風

令和 3年 8月 25日発行
チェンナイ補習授業校だより (第5号)

Tel : 0091-44-2254-2912

e-mail : jsetoc@jschennai.org.in

ホームページ : [http:// www.jschoolchennai.com](http://www.jschoolchennai.com)

《 在籍数 》 小学部 9名

中学部 6名

計 15名

確かな学びと国際感覚豊かな子どもの育成

校長 吉本 卓

パラリンピックの開会式を観ながら、担任をしていた筋ジストロフィー症の男子生徒を思い出しました。私も若くて経験不足でしたが、体育大会の全員リレーを車椅子で走り、文化祭では学級劇「ムカデの親分」で、主人公のムカデの頭を演じました。子どもたちにとって車椅子は関係なく、皆同じ仲間でした。彼らから、多くのことを学びました。



シンボルマーク(右図)の「スリーアギトス」の「アギト」とはラテン語で「私は動く」という意味で、困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。新型コロナ禍での開催になりましたが、感染することなく、思う存分活躍されることを願っております。

【先人の思いを受け継いで】

在外教育施設は、その地に在留された邦人が、『子どもたちに日本の教育を学ばせたい』との熱き思いから設置されています。準全日制補習授業校(以後、準全日校)である本校も同じです。マドラスと呼ばれていた頃、準全日校設置に向けた先人達の情熱がひしひしと伝わってきます。

本校は、昭和50(1975)年6月に、「マドラス日本語補習教室」として設立され、週2回の各家庭持ち回り授業が始まりました。昭和55(1980)年には初代派遣教員が着任し、6月から準全日校として開校しています。平成6(1994)年には、『日本人学校設立要望書』を日本政府に提出しましたが認可されませんでした。平成15(2003)年にはAISC内の教室に移転し、学習環境はより国際的になっていきました。この頃から、英語教育を重視しながら日本の教育を準全日校で受ける学習形態が定着し、「インター校での英語教育」と「年間200日を超える日本の教育」を受講できています。

現在は、新型コロナ禍により児童生徒数は急減し、厳しい学校財政状況になっておりますが、先人の思いを受け継いで、「保護者の皆様が安心できる教育活動」を推進してまいります。

【図書貸出しの再開】

AISCではワクチン接種者がPCR検査(金曜日)を受診でき、陰性であれば翌週に入校できることになりました。

私は、27日(金)のPCR検査で陰性であれば、8月30日(月)から出勤できるようです。そこで、子どもたちが楽しみにしている『学校図書の貸出し』を、9月1日(水)より再開いたします。

希望者は学級担任に声をかけてください。また、本の選定は学校HPの「図書の貸出しについて」をご覧ください。



〈学校図書館を閲覧できます〉

【編入児童】

新しいお友達が1名編入しました。9月15日からのオンライン授業でのスタートになりますが、一日も早く授業に慣れて、本校での学校生活を楽しんでください

〈小学部〉 1年:高橋 義人(たかはし よしひと)さん



【9月・10月の主な予定】 ※AISCの開校状況により変更します。

9月10日(金) : 休校 (Vinayakar Chaturthi)

※ガネーシャの誕生日

24日(金) : 小・中前期終業式

25日(土)~10月3日(日) : 秋季休業日

10月4日(月) : 後期始業式

14日(木) : 休校 (Ayudha Pooja)

※仕事に使う道具などに感謝の意を表す日